

GRIP2023 よくある質問一覧

最初に、質問一覧を掲載しています。一覧の後の部分で、各質問への回答を掲載しています。以下を読んで解決しない場合のみ、お問合せください。カテゴリ別に全部で3ページあります。

1. 質問一覧

スケジュールについて

1. 渡航はいつですか？渡航の前後で観光したいので別のフライトで行くことは可能ですか？
2. インドとイギリスの学生の受入期間はいつですか？その期間に実習やバイトがある場合はどうしたらいいですか？
3. 事前学習はいつ始まりますか？→オリエンテーションは10月(オンライン)、それ以外は12月開始
4. オンラインでの成果発表会はいつですか？

費用について

5. 自己負担はどれくらいですか？金額はいつ決定しますか？
6. GPAが低いのでJASSOからの補助がもらえませんが応募できますか？
7. ENGINE 行使済みですが応募できますか？
8. 補助金額がインドとイギリスで違うのはどうしてですか？

応募資格と選考基準について

9. 学部1年生ですが応募できますか？
10. 留学生ですが応募できますか？
11. 応募資格に「地域社会課題解決や多職種/国際協力に興味がある方」とありますが、どういう意味ですか？
12. 選考基準を教えてください。
13. 英語が苦手ですが社会問題に興味があるのでどうしても行きたいです。

応募方法について

14. どこで応募できますか？
15. 応募後のキャンセル(または選考後の辞退)はできますか？

その他

16. 単位は修得できますか？
17. 今年はオーストラリアへの派遣はないのですか？
18. 引率教員はいますか？
19. 現地での安全対策はどうなっていますか？
20. 渡航先でのwi-fiは個人での契約が必要ですか？

2. 各質問への回答

スケジュールについて

1. 渡航はいつですか？渡航の前後で観光したいので別のフライトで行くことは可能ですか？

2024年2月13日(火)から23日(金)です。個別に別フライトを手配して他の国に立ち寄ったり、滞在日程を変更したりすることはできません。航空券は、千葉大学が参加学生分を同一の旅程で一括して手配します。

2. インドとイギリスの学生の受入期間はいつですか？その期間に実習やバイトがある場合はどうしたらいいですか？

インドとイギリスからの受入学生は、出発国が異なるため別々のフライトになりますが、どちらも2024年2月28日(木)に日本へ入国予定です。プログラムは3月1日(金)から8日(金)で、9日(土)に出国予定です。**GRIPで2月に渡航した千葉大生の方には、この間のご都合の良い日に日本滞在中の学生のサポートをお願いします。**

サポート内容：一部フィールドへの同行(公共交通機関を用いた移動や、説明理解のための補助)

その他：受入学生から要望があった場合、一緒に夕食をとったり休日に遊びに出かけたりすることもあるかもしれません。学生間で相談して無理なく楽しく過ごしてください。

昨年度参加した千葉大生からは、受入学生のアテンドで普段行けない団体や施設を訪問することで日本についても学ぶことが多くあり、とても良い経験になったという声をいただいています。積極的にご参加ください。

3. 事前学習はいつ始まりますか？

2023年10月にはプログラムオリエンテーションを、事前学習は12月頃から予定しています。Google Classroom上の資料に目を通したり、zoomやoVice（メタバース）上で行われるチームビルディングや、学習・渡航に関するオリエンテーションに参加したりしていただきます。

4. オンラインでの成果発表会はいつですか？

2024年3月22日(金)の夕方を予定しています。インドとイギリスとの時差を考えると17または18時頃から2時間程度かと考えられます。現在調整中のため、参加学生の方には決定次第できるだけ早くお知らせします。

費用について

5. 自己負担はどれくらいですか？金額はいつ決定しますか？

JASSOとENGINEを利用した場合、**渡航先がインドの方は約8万円、イギリスの方は約12万円程度の自己負担が必要と予測されます。**航空券価格や為替レートの変動により、明確な金額はお答えできません。航空券代+宿泊費+滞在費（食事等）の合計金額から、補助金（GRIP+JASSO+ENGINE）を差し引いた金額が自己負担額となります。

7月に派遣学生が決定してから、航空券や宿泊先の手配を行います。手配開始後に滞在費を除いた金額は確定しますが、**手配開始後にキャンセルを申し出られた場合は学生負担でのキャンセル料がかかります**のでご注意ください。

6. GPAが低いのでJASSOからの補助がもらえませんが応募できますか？

応募は可能です。応募者多数の場合は、GPAがJASSO基準を満たしている学生を優先して選択します。

7. ENGINE行使済みですが応募できますか？

応募可能です。ENGINEからの補助がないため、自己負担金がインドの場合約13万円、イギリスの場合約17万円と予測されます。この点をご理解の上ご応募ください。

8. 補助金額がインドとイギリスで違うのはどうしてですか？

国によって航空券の料金や現地での物価が異なるためです。

応募資格と選考基準について

9. 学部1年生ですが応募できますか？

GRIPに参加できるのは学部2年生以上です。異なる学部・研究科の学生がチームを形成して、それぞれの視点や知識を持ち寄って社会課題解決の方法を検討することが本プログラムの大きな特徴となります。専門科目の履修が始まる学年以上で参加したほうが楽しく深く学ぶことができると思います。大学院生の参加も歓迎します。「Global Health and Nursing II」の履修学年が学部2年生以上という要件もあります。

10. 留学生ですが応募できますか？

応募可能です。ただし、国籍によってはビザ取得やそれにかかわる出費が必要となる場合や、ビザが発行されず渡航できない場合があります。**自分の国籍で希望国へ渡航可能か、および必要な手続きを調べてからご応募ください。**

11. 応募資格に「地域社会課題解決や多職種/国際協力に興味がある方」とありますが、どういう意味ですか？

GRIPは単純な交流や語学学習を目的としたプログラムではなく、国や地域が抱える特有の社会課題について見聞を深め、様々な専門性、価値観、文化を持つ個人が協働して課題解決を目指す点に特徴と意義を持つプログラムです。年度や派遣国によって、現地演習でテーマとする課題が異なります。2023年度、日本では「ホームレス支援」「少子高齢化とソーシャルキャピタル」「災害準備教育」の3つのテーマが設定されており、インドとイギリスからの留学生はいずれかの関連地域/施設を訪問します。インドでの演習のテーマは「貧困や障害など困難な状況にある子ども」、イギリスでの演習のテーマは「ホームレス支援」です。このような**社会課題について理解を深めたい方、将来何らかの形で社会課題の支援や解決に貢献できるようになりたいと考えている方、また、学部・学科や学年、国や文化が異なる人と力を合わせて何かを成し遂げる経験してみたい方**には、特に参加する価値の高いプログラムとなっています。

12. 選考基準を教えてください。

英語力（学部生 CEFR B1 以上・院生 B2 以上）、学業成績（GPA: JASSO 受給要件に合う学生を優先）、並びに応募動機を参照します。その上で、特定の学部には偏らないよう、多数の学部や研究科から学生が派遣されるよう選考します。

13. 英語が苦手ですが社会問題に興味があるのでどうしても行きたいです。

応募は可能です。派遣定員数より多い応募があった場合は、英語力の基準を満たす方を優先します。現地での演習、交流、討議のほか、事前・事後学習も英語で行われるため、苦手意識を克服して参加できると良いと思います。

応募方法について

14. どこで応募できますか？

2023年6月1日（木）～7月13日（木）の応募期間中に、指定された Google フォームより下記の項目を入力し、申し込んでください。当該の Moodle コースに情報を掲載しています。**紙での応募は受け付けておりません。**

①応募者の情報（学籍番号など）、②英語試験の成績や資格・保険等の情報、③応募動機（記述の全てへの回答を以て応募完了となります）。

15. 応募後のキャンセル（または選考後の辞退）はできますか？

できるだけ避けてください。キャンセルまたは辞退される場合は、事情が分かった時点で直ちに GRIP 推進室へお知らせください。航空券等の手配が始まってから**個人都合でキャンセル料が発生した場合は学生本人の負担となります。**

その他

16. 履修単位は修得できますか？

できます。事前学習、現地演習、事後学習（成果発表会）まで所定の学習活動に参加することで**学部生は「Global Health and Nursing II」の2単位を修得できます。大学院生の場合は「専門職間社会課題解決演習」の2単位が認められます。**副専攻として GRIP を履修したい大学院生は個別にお問合せください。

17. 今年はオーストラリアへの派遣はないのですか？

オーストラリアへの派遣は **2024 年度から開始予定**です。提携校はメルボルンのモナッシュ大学です。

18. 引率教員はいますか？

基本的に日本からは教員は引率しません。渡航先では現地提携校の教職員および現地エージェントが対応します。特にインドのフィールド学習では、常時、教員が引率します。

19. 現地での安全対策はどうなっていますか？

まずは千葉大学の留学支援室のホームページより、海外安全ハンドブックと危機管理ガイダンスをご覧ください。

<https://www.ryugaku.chiba-u.jp/others/crisis.html> 加えて、以下の対策を取っています。

- ・ 出入国時：JTB からの渡航オリエンテーションあり
- ・ インド現地：チャーター車で移動（空港～大学間および演習先への送迎）演習には提携校の教員が同行、緊急時は日英印トリリンガルの現地エージェントが 24h 対応
- ・ イギリス現地：公共交通機関で移動演習には提携校の教員または学生が同行緊急時は提携校の留学生担当者および教員に連絡（千葉大の教員はオンライン対応）

20. 渡航先での wi-fi は個人での契約や準備が必要ですか？

フィールド学習用の Wi-Fi ルーターは大学で準備します。私用目的のものは自身で準備してください。前回の学生はルーターレンタルや e-sim 契約等で対処していました。